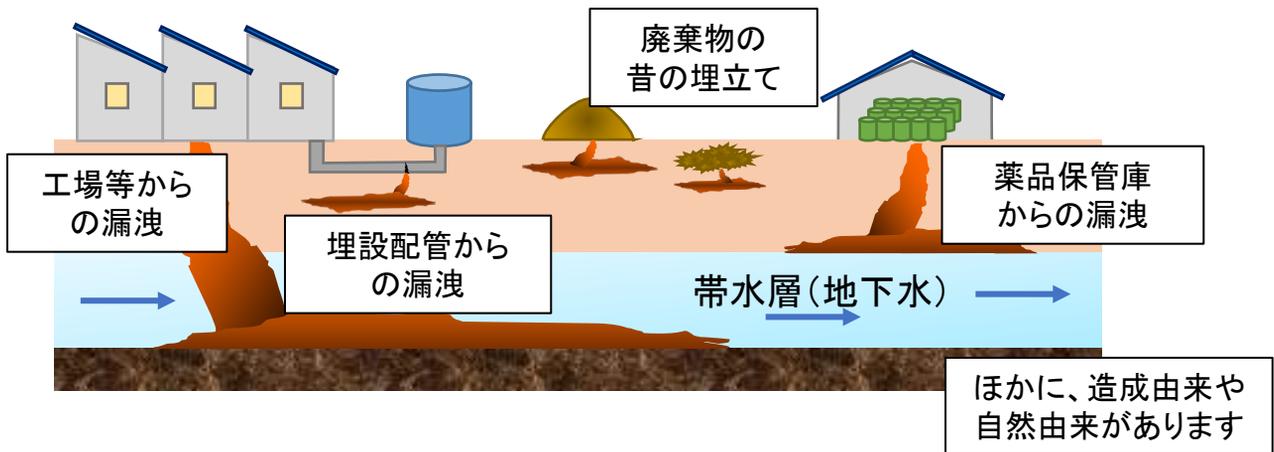


# 土壤汚染とは

## キーワード

土壤汚染対策法、事業由来と自然由来、規制物質26物質調査の義務と対策の義務、安全性の確認方法、土地活用と土壤汚染

## 知って得する



工場などから化学物質が地下にしみ込んで土壤汚染となります。

### 特定有害物質 <土壤汚染対策法の規制物質>

鉛、砒素、カドミウム、水銀、フッ素など重金属等 9種類、  
トリクロロエチレン、ベンゼンなど揮発性有機化合物 12種類、  
PCB、農薬類 5種類 計26種類  
その他、ダイオキシン類、油分、硝酸性窒素、PFOSあり

土壤汚染対策法で、化学物質を使う工場施設の廃止時や土地掘削前に、調査が義務づけられています。調査は、環境省の指定調査機関約700社(JFEミネラル; 指定番号2004-3-2013)が行なう必要があります。調査機関の報告をもとに、行政が安全性や必要な対策を確認します。

土壤汚染があっても、近隣に迷惑を掛けずに、再開発や土地売買が可能です。